鹿南タイムズ

発　行　所
鹿児島県立鹿児島南高等学校
新　聞　部
鹿児島市谷山中央八丁目4番1号

1面…:県高校総体決勝
女子バレーボール部優勝
2面…芥川賞作家奥泉光氏
講演・タイムズ独占取材
3面…「本校は巨大軍需工場跡」続編
新証言「父は田辺の工場長」
4面…生徒総会，論説
5面…鹿南69名全国に
6面…青春宅配便他

応援声高く鹿南接戦制す

県総体決勝

鹿女に粘り勝ち 鹿南14年ぶり栄冠

6月5日（月）、鹿児島アリーナで開催された第70回鹿児島県高等学校総合体育大会バレーボール競技の決勝リーグに本校の3年生と体育科の生徒総勢約370人が応援へ駆け付けた。赤いメガホンから発せられた一致団結した応援に応えるように鹿南女子バレーボール部は14年ぶり4度目の優勝を飾り、全国大会への出場権を手にした。

女子バレーボール

1試合目の鹿児島実業戦、2試合目の鹿屋中央戦では鹿南が点をリードしながら2セットを鮮やかに先取。コートに展開される選手たちの活躍する姿に、応援の声も1試合目からアリーナ中にひときわ響いた。

15時15分、強豪鹿児島女子高との最終戦が幕を開けた。二度の応援を経てさらに応援に力が入る本校生徒たちは、決勝戦に胸を高鳴らせた。第1セット、明らかにこれまでとは違う雰囲気が会場を包んだ。

鹿女が点をリードする形でスタートするも、「点差を離してなるか」と点の奪い合いが始まった。実力はまさに拮抗、まったく気の抜けない試合が展開された。「応援でも1位をとれるように」と朝の応援指導で話したバレー部員の熱い思いが形になったように、生徒たちの声にもさらに熱気をおびた。

第1セットは30―28で鹿南が奪ったものの、第2セットでは21―25と手に汗握る展開へともつれ込んだ。第3セットでも、点が決まった時の応援と、取られてしまった時の応援が交互に続いた。2セット目の終わりですでに90分が経過、長く立ったままの応援に疲労を感じながらも、ボールの軌道を目で追って応援もヒートアップしていった。会場全体が一喜一憂する中、コートチェンジ後は鹿南の粘り強さが功を奏し、点が決まった時の応援と、取られてしまった時の応援が交互に続いた。2セット目の終わりですでに90分が経過、長く立ったままの応援に疲労を感じながらも、ボールの軌道を目で追って応援もヒートアップしていった。会場全体が一喜一憂する中、コートチェンジ後は鹿南の粘り強さが功を奏し、

昨年度から始まった女子バレーの県総体決勝リーグの3年生と体育科の合同応援。3年生は進路実現に向けて多忙な中、熱血応援に心を一つにしてますます学年の団結が高まった。

優勝をかけた戦いは3試合目の3セット目に持ち越され，1点を取り合う展開に会場は熱気に包まれた。

2位 九州大会出場 国体で全国活躍を期待

女子ハンドボール

6月8日（木）、鹿児島アリーナで、本校女子ハンドボール部が県総体の決勝リーグにおいて、第2位という好成績を収め見事九州大会出場を決めた。この試合には、本校の2年生全員と体育科の生徒が応援に駆け付けた。緊張やプレッシャーが大きい中でも「楽しむことを意識した」というキャプテンの抜水うららさん（3―8）。迎えた第1試合は出水高校との対戦。まずは鹿南が1点を先取しポイントを重ねていく良い流れ。前半後半とも本校がリードし続け23―11と鹿南が大差で勝利を収めた。そして迎えた第2試合は国分中央高校との試合。前半から点数の競り合いが続き、それでも1点1点を確実に奪い取り12―6の6点差と本校がリードした状態でハーフタイムに入った。後半、最後まで白熱した試合展開で点数の競り合いが続いたが、結果は16―16の同点で終了。1試合目は大差で勝利を収めたものの、2試合目では同点という結果。前日の国分高戦も含め、ここから失点が引かれ得失点差で本校は2位となった。8月の九州地区の国体予選では、メンバーの16名のうち5名を本校ハンドボール部が占める。次は国体の九州予選を勝ち進み、全国での活躍が期待される。

ディフェンスからの速攻を持ち味とする本校。相手と激しくぶつかり合いながらもすばやく立ち上がり、華麗なバックパスなどが見られた。〔写真〕第1試合

優勝へと導くスパイクがきまった。長い戦いはバレー部と応援していた生徒たちに深い感動を与えた。キャプテンの福永果穂さん（3―6）は「どのチームも勝ちに来ていて苦しくなるのは分かっていたので、優勝できてうれしい」と振り返った。7月28日から8月1日まで宮城県で開催される全国高校総体での女子バレーボール部の活躍に期待が高まる。

熱血！応援練習 短時間でも仕上り上々

県総体女子バレー決勝当日、8時45分には3年生と体育科生徒たちは鹿児島アリーナ（鹿児島市永吉）正面入り口に現地集合。6月とは思えぬ炎天下の中、バレー部の熱血指導の下で、本校生徒は応援練習に集中した。今年の決勝は第1試合目からということもあり、20分程の時間で当日に配布されたA4裏表のセリフを一気に頭と体に叩き込んだ。バレー部の作成した分かりやすい大きなプレートも功を奏し、鹿南は初戦の鹿児島実業戦からフルパワーで一糸乱れぬ応援を見せた。

海岸線

近頃、イヤホンを装着した状態で自転車に乗る人をよく見かける。これでは周囲の音が遮られ、大変危険だ。▼県道路交通法施行細則では、運転者の遵守事項（第12条）で「車両（自転車を含む）等を運転中に『安全な運転に必要な交通に関する音又は声』が聞こえないような状態でラジオ等を大音量で聞いたり、ヘッドホン・イヤホン等を使用してはならない」となっている。「安全な運転に必要な交通に関する音又は声」とは主に、車両等の警音器、踏切の警報器、緊急自動車のサイレン、警察官の指示等の安全に運転するために必要な音又は声のことをいう。耳が塞がれている状態で運転すると、これらの音が聞こえず事故につながりかねない。▼警察庁の資料によると、平成27年の自転車関連事故数は98，700件であり、これは交通事故件数全体の18・4％を占める。▼自転車の運転は、思わぬことから自分が加害者にもなる。この夏、自転車で出かける機会も増えるだろう。安全に配慮した運転を心がけることは、運転者の義務だ。運転中のひと時の音楽で招く危険は計り知れない。

異質なものとの出会い大切に

芥川賞作家 奥泉　光氏

6月30日、本校体育館で、作家の奥泉光（おくいずみひかる）さんによる「高校生のための文化講演会」（一ツ橋文芸教育振興会・南日本新聞社主催）が行われた。奥泉さんは、『石の来歴』で1994年に芥川賞を受賞。ピアノ演奏を交えながらの講演は、高校生にもとても分かりやすく私たちの胸を打った。新聞部は、講演終了後に、独占取材をする機会が与えられた。講演の要旨と取材の一部を紹介したい。

講演要旨

言葉の力が異質をつなぐ

本を読む意味は、言葉の力を獲得できることだ。暴力や財力によって人を動かすことができるが、それ以上に言葉の力もある。言葉は、人を殺すことができるし、救うこともできる。言葉を扱い、コントロールするために、読書が必要だ。

20世紀、ロックやソウルやジャズといった異質な音楽がぶつかって、ポップが生み出された。ブルース音階は、ヨーロッパ音楽の伝統と黒人のリズムのセンスという異質なもの同士がぶつかり生まれた。

世界をつくる方法には2つある。みんなが同質だと考えて世界をつくるなかでは、実際は同質ではないのに無理が出てくる。そうすると、一部分に「異質」をつくることにより、排除が行われる。こうして「同質」を確認することになる。だが、異質なもの同士が認め合いながら生きていく方法もある。このシステムこそ豊かなものであるが、簡単なものではなく、言葉の力が必要である。言葉には、異質なもの同士を結びつける可能性があるのだ。

本のなかには、異質なものと出会うチャンスがたくさんある。今まで考えてこなかったことと出会うことができる。書物でも、人間でも、異質なものと出会い、結びつき、豊かな世界をつくっていこう。

講演後取材

自ら読みたいと思う作品を書く

Q　執筆にあたり、心がけていることは何でしょうか？

A　自分が「書いて」ではなく「読んで」おもしろいものを徹底して書くということです。自分が読者だったら絶対読みたいという作品です。一読者として自分に対して批評をしながら書かなければならないため、難しいです。

Q　作品のアイデアはどのようにして思いつかれますか？

A　過去の良い作品を読むことで思いつきました。夏目漱石の『吾輩は猫である』や『草枕』などの作品や、大江健三郎、ドストエフスキー、カフカ、トーマス・マンといった作家の作品からインスパイアを受けました。自分が作家になったのも、過去に自分が面白い作品を読んだからです。

Q　高校生のときは、どのような高校生でしたか？

A　埼玉県にある公立の男子校に通っていました。吹奏楽部でフルートを演奏していました。音楽ばかりやっており、朝、昼、放課後と練習をしていました。

Q　今の高校生に伝えたいことはありますか？

A　狭くとじこもらずに、自分の外側にある異質なものと出会い、言葉を使ってコミュニケーションをとったらいいのではないでしょうか。そのための技術を身に付けることも必要です。

Q　中高生向けの作品を書かれていますが、気を付けていることがありますか？

A　特別に中高生向けだからやさしく書こうとは思っていないのですが、子どもから大人まで、みんなに対してわかりやすく、楽しく伝えられたらいいと思っています。

キッズウィーク

夏休みが減って大型連休が誕生？

近年、労働者の残業時間の増加やそれに伴い子どもとの触れ合いの時間が減少していることが日本の課題となっている。そこで、注目されているのが「キッズウィーク」だ。最近話題のこの制度について、スーパーボーイみなみ君が後輩のサウス君にわかりやすく教えてくれます。

サ　キッズウィークとはどのようなものなの？

み　全国の小・中・高校の夏休みなどの長期休暇の一部をほかの平日に分散させることによって新たな大型連休を創設するものだよ。例えば、夏休みから5日分を短縮して、通常日に移すことで最大9日間の休日ができるよ。

サ　へぇ、その計画にはどんなねらいや効果があるの？

み　子どもの連休に合わせて大人に有給休暇の取得をうながすことが目的だよ。さらに、全国的に連休を分散させることによって旅行者が増えて、観光産業が活性化するとも言われているよ。

サ　なるほど。そもそも有給休暇ってどんなものなの？

み　有給休暇とは、正式には年次有給休暇とよばれていて、一定の条件を満たしている人が会社に申し込むことで、休日以外にある程度まとまった日数を労働から解放し、これを有給とすることができるよう法律が保障したものだよ。分かりやすく言うと、ふつうは「休みを取ると給料は発生しない」ものだけど、有給休暇を使うと「休みを取っても給料がもらえる」ということだよ。最近では、企業で働くひとたちの有給休暇取得率は年々減ってきているんだ。だけど例えば、フランスやドイツなどでは法律で有給休暇の取得が義務付けられているから、日本と比べて休む日数は多いようだよ。

サ　だれが出した案なの？

み　首相官邸で開かれた政府の教育再生実行会議において、安倍総理がキッズウィークの創設をすることを表明したんだよ。

サ　いつから施行される予定なの？

み　2018年の4月から導入が目指されているよ。

サ　国民からはどのような意見が出ているの？

み　意見としては、賛成と反対に分かれているんだ。

賛成派の意見としては、旅行者が分散されるから、旅行に行くときの飛行機や新幹線の混雑が緩和されるという声もあるよ。

反対の主な理由としては、旅行者が増えることによってサービス業で働いている人がより忙しくなってしまうとか、そもそも多忙な日本の労働者が有給休暇を取れないのではとも言われているよ。また、夏休みが短くなると、夏の暑い日に子どもを登校させるので健康面の心配も上がっているよ。

サ　今後どうなっていくの？

み　日本人の働き方改革とあわせて議論が進むみたいだけど、本当に導入されるかはまだ分からないみたいだね。

サ　良く分かったよ。ありがとう、みなみ君。

質の高い文武両道目指して

鹿倉校長就任インタビュー

本校校長として今年4月に赴任された鹿倉校長先生。本県の高校体育連盟会長としての顔ももつ鹿児島南高校校長として、多忙な日々を送られている。その中でも毎日のように校内を巡視され、生徒の様子を気にかけて下さっている。今回、タイムズでは鹿倉校長先生に本校に赴任しての本校生への印象や思いをインタビューした。

校長　鹿倉　貢　かくらみつぐ

昭和34年(1959年)生まれ　吹上町出身

加世田高校，筑波大学体育専門学群卒　教科は保健体育

昭和59年～鹿屋市立花岡中学校勤務　昭和63年～県立高山高校勤務　平成17年から本校勤務　平成24年～県立青少年研修センター所長　平成26年～県教育庁保健体育課課長を経て，平成29年より本校校長として赴任

Q　本校に赴任されてどのような印象をお持ちですか？

A　朝から補習や部活動で生徒が生き生きと活動している姿を見て、学校に戻ってきたんだと実感しています。

Q　本校の良い面を教えて下さい。

A　それぞれの学科の特色を出して進路実現に向けて一生懸命頑張っているところです。また、部活動が盛んで、礼儀正しくて素直なところが良いと思います。

Q　本校の課題を教えて下さい。

A　本校の文武両道、しかも質の高い文武両道にはまだまだ努力の余地があります。勉強だけとか、部活動だけとかでなく、バランスよく何事にも一生懸命頑張ってほしいですね。

Q　質の高い文武両道のためには、何が大切だと思われますか？

A　限られた時間を生かすために何事にも集中することが大切です。自宅学習をはじめ工夫次第で質の高い行動がとれるようになると思います。

Q　校長先生としてどのような学校を目指しますか？

A　各学科それぞれの特色を十分に発揮し、師弟同行で目標達成に向けて邁進する学校です。そして教師の叱咤激励を受けて生徒が「厳しいところもあるけれど楽しい」と思える学校です。

Q　趣味や特技は何ですか？

A　特技は柔道で6段です。（ここ数年、柔道着の袖に手を通していないですが）趣味は盆栽で、主に天梅（てんばい）を石付きで育てています。（校長室に2鉢置いてあります）

Q　盆栽の魅力は何ですか？

A　自分の思い描くように形づくるところですね。それは、人を育てることにも似ています。愛情（水）をあげすぎてもいけないし、あげなさすぎると成長しなくなってしまいます。

Q　高体連会長としてどのようなお気持ちですか？

A　県内約2万人の部活動生が、「部活をやって良かった」と思えるように、関係機関や団体と連携して取り組んでいきたいです。また、平成31年に本県を主幹県として開催する、全国高校総体南部九州大会を成功させたいですね。

Q　本校生へのメッセージをどうぞ。

A　高校時代は長いようであっという間。みんな遠い目標と身近な目標を明確に持って、限られた時間を精一杯、有意義に使ってほしいです。

「本校は巨大軍需工場跡」続報

父は田辺の工場長」

新証言　軍需工場の戦中戦後

本紙では、これまで太平洋戦争中に本校の敷地付近で操業していた巨大軍需工場「田辺航空工業」について調査し報道してきた。その過程で、第6号において、その疎開工場が、伊佐市の旧制大口中学校（現在の県立大口高等学校）など2か所に存在し、生徒が航空機の胴体等を製造していた事実を突き止め、報道した。

そして、第8号では父親が大口高等女学校に設置された疎開工場の工場長だったという証言をご息女である末満祥子様から証言していただいた。そして、今回、その父である小齊平圓子様から証言を得ることができた。今回の証言で、終戦前後の工場付近の様子が明らかになったほか、当時の写真や、工場で戦中使われていた金属製の食器の存在も明らかになった。

田辺工場長の社宅に居住

私は昭和16年、郡元に7人兄弟の5番目として生まれました。私の父は戦時中、田辺航空工業の工場長を務めており、工場付近にあった工場長用の社宅に私たち家族も住んでいた時期がありました。私は終戦当時まだ3歳だったので、戦時中の工場に関することはあまり知りません。しかし、終戦後の田辺の敷地の様子や、私が物心ついてからのことははっきりと覚えています。

今回取材を受けるにあたって、私は家から写真帳を持ってきました。中には私たち家族の戦前から戦後までの写真がいくつも貼付されていて、父が写るものもあります。

この写真（3面中央）を見てください。これは父が知り合いの方々と一緒に撮った写真で、背景には前回の鹿南タイムズ（第11号）でも掲載された、田辺航空工業の本館事務所の建物も写っています。上段右から2人目が私の父です。私の親族では大人はほとんどが田辺航空工業の社員として働いていました。

こざひらえんこ
小齊平圓子さん(75歳)

1941年(昭和16年)鹿児島市南郡元生まれ。父，栄二(えいじ)さんは，田辺航空工業の工場長を務め，戦後平和産業に転換した工場「新生工業」の工場長を昭和22～23年の頃まで務めたという。圓子さんご自身は，谷山小を経て中郡小，鴨池中，純心高校，純心短大卒。洋裁のデザイナーとして全国で活躍後，現在は，真向法の体操講師や，洋裁のボランティアも務める。登山やマラソンも趣味。

田辺航空工業の存在語る食器

このお椀も私の家に残る田辺航空工業の遺物で、70年間家に保管し続けてきました（3面右下写真）。素材は金属製で、底面には今もくっきりと「田辺航空」の文字が残っています。戦後、会社は新生工業と社名変更をしましたので、このお椀は戦時中に田辺社内の食堂で使われていたのではないでしょうか。

もともと、父は鴨池にあった紡績工場に勤めていて、母とはそこで知り合って結婚したそうです。その後、田辺航空工業に就職した父は、手腕を見込まれて工場長を務め、終戦後も残務整理のために会社に残り昭和22年から昭和23年ごろまで仕事を続けていました。それに伴って、私たちも昭和22年、私が谷山小学校1年生の2学期まで工場長宅で生活していました。

間には幅2mほどの小川が流れていたと思います。昭和5年生まれの私の兄は、この塀を乗り越えて小川に足場を渡し、そうして近道をして鹿児島一中（現在の鶴丸高校）までの道を急いでいました。入口を入ると守衛さんが番をしていましたが、私はよくそこを通るので「小齊平さんのおうちの娘さんだ」と顔を覚えてもらっていて自由に通ることができました。

家の付近の何もない場所は、畑として使われていました。畑で育てていたのはスイカや落花生、ニンニクや大豆です。空襲の写真（本紙第4号）にも写っていますが、私が住んでいた工場長宅は三角屋根の大きな家でした。木造平屋建てで、屋根は瓦葺き。内部は4つの間取りに分かれていて、図にすると丁度田の字のような形です。各部屋が6畳から8畳の広さで、リビングとコンクリート塗りの土間のほか、お客さんのための客室になっていた部屋がありました。このお客さんたちは親戚の人ではなかったので、おそらくは父の仕事関係の人だったのではと思います。また、敷地内には築山があり、家からも1、2分で行けるところから私たちはそのシュロの木が生えた築山を憩いの場所にしていました。この築山のことを私たちの間では「どろぼう山」と呼んでいた記憶があります。

父は仕事が忙しかったこともあり、遊んでもらった記憶はありません。人望が厚く、人に慕われる人で、町内会の役などを何でも引き受けていました。終戦後も昭和23年まで残務整理のため働いていましたが、激務のためか体を悪くしてしまい、1年半の闘病生活の後、父は他界してしまいました。昭和26年、50歳のときでした。

小齊平さん提供の田辺航空工業本社本館前での写真。服装から戦後の新生工業時代の写真と推定される。上段右から2人目が父工場長，小齊平栄二さん。

戦後の激務で他界　自給自足の生活

父を亡くしてから私たちの生活は苦しいものになりました。父が亡くなったとき、一番上の兄は学校を卒業して日銀に就職していましたが、遺された一家8人を支えていくのは難しかったのです。

父が遺してくれた郡元の実家に畑を作ることで日々生活することが出来ていましたが、なにしろお金が入ってこないので母は子供たちの学費の捻出に苦労していました。それでも「どこでも良いから大学までは行きなさい」と母は言ってくれて、おかげで私も純心高校、純心短大に進学できました。もちろん、節約のために友達皆が行く修学旅行を我慢するなど、私にも出来ることはしました。

小齊平さん宅に保管されていた「田辺航空」の刻印（下写真の器の中央）のある金属製の食器。工場の存在は軍事機密とされていたため、当時の史料は極めて貴重である。上部直径は約13センチ。工場の食堂で使われていたとみられる。

タイムズがつなぐ2人の歴史

今、私はデザイナーを引退して真向法（まっこうほう）という体操の講師をしています。実はこの教室に、末満祥子さん（本紙第8号に登場、大口疎開工場の工場長のご息女）が通われていらっしゃり、（本紙4号の記事から）「確か本社の工場長の方のお名前も小齊平さんでしたが、何かご関係がおありですか？」とあるとき聞かれましたので大変に驚きました。末満さんとは、あの時代、同じ田辺航空工業の敷地付近に住んでいたわけです。その事実を70年ぶりに知ったわけで、こうしたご縁もあるのだなあと思います。この鹿南タイムズがなかったら、この出会いもありませんでした。本当に不思議なことです。

田辺航空工業株式会社（たなべこうくうこうぎょう）

1943年(昭和18年)から現在の鹿児島市西谷山1・2丁目、谷山中央8丁目(現在の善き牧者幼稚園、鹿児島南高校、谷山中学校付近)で操業を開始した巨大軍需工場。本紙第2号で「本校は巨大軍需工場跡」として工場が空襲を受けるスクープ写真とともに報道した。

同工場は、従業員5千人超の南九州最大の軍需工場であり、航空機部品を造り、大村海軍工廠(かいぐんこうしょう)(長崎県大村市)に送っていた。主翼・機体などの多様な部品製造の中で特に零式水上偵察機のフロート(水上で離発着するための舟型の浮き)は国内最大の生産量を誇った。

鹿児島南高校の敷地は当時社宅第2区だったと考えられる。

今回、証言された小齊平さんは、本社事務所近くの工場長用の社宅に住まわれていたと推察される。工場は、千人を超える10代の勤労学徒、養成工も勤務した。本紙第7号では、戦況悪化の中、旧制大口中学校と大口高等女学校(両校とも伊佐市大口、現県立大口高校)に疎開工場が設置され、生徒たちが部品製造に従事していた様子を明らかにして報道した。

その大口高等女学校の工場長のご息女と、田辺本社工場の工場長のご息女がお互いを知らぬままに、戦後70年後の時代に一緒の体操教室で出会っていたことは歴史の偶然とはいえ、感慨深い。

携帯マナー意識高めて

全体集合・服装検査の生徒の姿勢議論

平成29年度生徒総会

5月22日に本校体育館アリーナで、平成29年度生徒総会が行われた。生徒総会に初めて参加する1年生からも盛んに意見が出され、積極的に参加する様子が見られた。まず、生徒会執行部から平成28年度活動報告、29年度活動計画案の提案があり承認された後、今年度の生徒会の各専門部の努力目標、提案され承認された。その中で、生徒会全体の努力目標として「携帯電話のマナーを守る」という案のほか、「明るい挨拶を絶やさない」「自宅学習に計画を持つ」「身だしなみを整え、身の回りの美化に努める」といった活動方針案が承認された。

総会では、最近校内で特に課題となっている3つの議題が話し合われ、各クラスから出された活発な意見を執行部が集約した。

各クラスから多くの意見が出たが、活動方針や要望事項については、さらなる議論の深まりが必要に感じられた。

「体育館に、5分前集合完了・無言整列を守るためにはどうしたらよいか」に対しては「金曜日に総務が呼びかけ、月曜日の朝にも放送で呼びかけ徹底する」、「校内で携帯電話の電源をきちんと切っておくためにはどうすればよいか」に対しては「ポスターを作成して、一人一人が意識し、SHR後に担任が確認する」、「服装検査の不合格者を0にするためにはどうすればよいか」に対しては「服装検査の前の金曜日に呼びかけ、定期的に検査し、教室に爪切りを置くなどして不合格者を0にする」という方向に集約された。

生徒からの要望事項案では、今年も様々な意見が出されたが、1年3組が提案した「売店にアイスとお菓子を追加してほしい」という要望案に賛否の意見が飛び交った。

賛成派からは「夏の間だけでも販売してほしい」という声、反対派からは「ごみが増える」などの声も上がった。拍手のみでは賛否が確認できず、挙手にて可決された。要望事項の結論は職員会議に委ねられるわけだが、夏の楽しみが増えるかどうかは気になるところだ。

他にも、「自動販売機と冷水機の数を増やしてほしい」「男子の体操服のズボンを長くしてほしい」という要望事項案も可決され総会は終了した。

今回の生徒総会は、各クラスからの意見はたくさん上がったものの、要望事項についてはその根拠等について議論の深まりが必要に感じられた。より質の高い議論を生徒が意識することが大切だ。

論説

アメリカのパリ協定離脱
自国中心主義の拡大に警鐘を

2017年6月1日、アメリカのトランプ大統領がパリ協定から離脱することを表明した。「パリ協定がアメリカの経済にとって不利になる」というのがその大きな理由だ。

パリ協定とは、地球温暖化を防ぐために、2020年以降の各国の対策をまとめた国際協定である。この協定には気候変動枠組条約に加盟する196か国もの国が参加しており、もちろん日本も参加している。この協定の長期的目標は、世界の平均気温を産業革命前に比べ気温の上昇を2度未満に止め、できれば1．5度未満に抑えるというものだ。また、今世紀後半には、人為的な排出量と森林などの吸収量を均衡させ二酸化炭素などの温室効果ガスの排出を実質ゼロにするという目標を掲げている。

同様に地球温暖化の対策の協定として記憶に新しいのは、京都議定書だろう。京都議定書とは、1997年に採択された気候変動枠組条約に関する議定書のことで、2008年～2012年の5年間で、1990年を基準としてアメリカ、日本などの先進国が温室効果ガスを削減するという義務があった。しかし、発展途上国に削減義務を求めていないことを理由として、アメリカは2001年3月に京都議定書体制からの離脱を表明した。この時のアメリカの動きも、先進国が温室効果ガスの排出削減のリーダーシップをとろうという世界の動きに水を差した。

パリ協定では196か国という地球上のほぼすべての国が協力して地球温暖化を防ごうとする画期的な枠組みだ。ところが、今回の協定においてもアメリカという世界でも強い影響力をもち、そして世界第2位という温室効果ガスの排出源である国家が、自国の経済のために協定からの離脱を宣言したことはあまりに身勝手な行動である。

近年ヨーロッパでは、難民の受け入れ問題で、難民の受け入れを制限したいという理由によってイギリスがEUを離脱する出来事が起こった。最近では、こうした自国中心主義が目に余る情勢がある。自国の利益ばかり追求していては、地球規模で発生している気候変動や難民の移動などの事象に対して有効な対策を行うことは不可能だ。自国中心主義が世界的に広がれば、最終的に人類全体の発展や生存を脅かす事態になるだろう。

実は日本は、京都議定書の第2約束期間である2013～2020年については、ロシア同様に離脱している。先進国と発展途上国もすべて含めた枠組みを求めての離脱と言われているが、今回のパリ協定はまさにそうした主張に沿った枠組みだ。

アメリカがパリ協定を正式に脱退をするまで少なくとも2年間以上の手続き期間がある。それまでに、日本政府がアメリカに対して国際的な課題の解決にもっと積極的になるように働きかけることが必要だ。

そして、私たち日本人も温室効果ガスの削減にもっと一人一人が意識を高くして行動すべきだろう。こまめな節電やゴミの分別など、自らできることもたくさんある。インターネットで世界がつながる時代にあって、市民レベルの小さな取り組みも、世界と瞬く間に共有できる時代だ。私たち日本人の日常の小さな取り組みの蓄積を、アメリカ国民に伝えることで、国際的な課題の解決に歩調を合わせるように訴えることも可能だ。

まずは、日本自らが国レベルや市民レベルにおいても、地球温暖化対策に対して積極的な姿勢を持つとともに、模範的な行動を示すことが大切だ。それによりアメリカ国民自身に、自国の外交政策が誤っていることを自覚させ、アメリカが超大国にふさわしい姿を取り戻してほしいと考える。

鹿南 夏の味覚 甘く涼やか

好評 生徒開発商品

本校商業科・情報処理科13名が、日頃の学習を生かして商品開発を行い好評販売中だ。商品は、霧島市溝辺町有川にある「ケーキハウスシン」と協力して開発したもので、商品は、県産のサツマイモである紅はるかを使用した「はるちゃんタルト」と「はるちゃんつるりん」の2種類。

はるちゃんタルト

タルト生地にスイートポテトをしぼって作られた「はるちゃんタルト」は、紅はるかの素朴な甘さに、ごまの風味が引き立つクリーミーで繊細な甘さが特徴だ。

はるちゃんつるりん

水まんじゅうの中にサツマイモペーストが入っている「はるちゃんつるりん」。水まんじゅうがもちもちしていて中に入っている甘いサツマイモペーストがいいアクセントになっている。その名の通りつるりと喉越しよい涼しげな食感だ。

「はるちゃんタルトは、タルト生地をやわらかく、はるちゃんつるりんはシンプルな味だから幅広い人に食べてもらえるように工夫をした」と商品開発を行った生徒は語る。

紅はるかのクリーミーな甘さがたまらない「はるちゃんタルト」150円

つるりとした食感に涼しさを感じる「はるちゃんつるりん」100円

5月27日には、たわわタウン谷山（鹿児島市西谷山1丁目）で、はるちゃんタルトとはるちゃんつるりん、さらに卒業生が商品開発した「はるちゃんプリン」の3種類が販売された。

値段は、はるちゃんタルトが150円、はるちゃんつるりんが100円、はるちゃんプリンが230円だ。多くのお客様が購入されていて、大人から小さな子どもまで幅広い年齢層の方が購入していた。

販売を担当した生徒は、お客様の様々な要望に対応した接客を行っていて、「働くことの難しさを知ることができた」と語った。

大人から子どもまで幅広い年齢層から人気を集めていた。

暑い季節にぴったりの「はるちゃんつるりん」、サツマイモの味を生かした「はるちゃんタルト」は、たわわタウン谷山と、ケーキハウスシンで購入することができる。ぜひ一度食べてみてはいかがだろうか。

〔お知らせ〕鹿南タイムズのバックナンバーは本校のホームページでカラーでご覧になれます。

鹿南69名全国へ

県高校総体は多くの競技が終了し、本校の部活動は体育系・文化系ともに大きな成果をあげ、総勢69名がこの夏全国の舞台に挑む。陸上部、フェンシング部、柔道部、水球部、女子ソフトテニス部、女子バレーボール部、弓道部、空手道部は7月下旬から8月にかけて山形・宮城・福島の南東北三県で開催される全国高校総体に出場する。また、文藝部、写真部も全国高校総合文化祭に出場する。鹿南の名を全国に轟かしてほしい。

県総体等の結果

【陸上】［県総体］男子総合優勝　［走幅跳］優勝　石原（3―8）　［棒高跳］優勝　麻生（3―7）　［400mハードル］優勝　馬場園（3―8）　［8種競技］優勝　佐田（2―8）　［800m］優勝　弓削（2―2）　［1500m］優勝　下園（2―1）　［ハンマー投］優勝　杉山（2―8）　［走高跳］優勝　宮内（3―8）　女子総合3位　［5000m］優勝　大脇（3―2）　【フェンシング】［県総体］男子団体優勝　［フルーレ］優勝　福山（3―8）　［サーブル］優勝　山本（3―8）　［エペ］優勝　齊脇（3―8）　女子団体優勝　［フルーレ］雨田（3―8）　［サーブル］谷山（3―8）　【弓道】［県総体］男子団体4位　女子団体優勝　女子個人優勝　吉井（3―1）　【女子ハンドボール】［県総体］準優勝　抜水（3―8）ほか　【水球】［全九州高校選手権］2位　芝（3―8）ほか　【女子柔道】［県総体］団体3位　小川（3―8）ほか　［52kg級］優勝　小川　3位　新村（2―8）　［57kg級］優勝　三﨑（1―8）　2位　清水（3―8）　［70kg級］3位　川村（1―8）　［78kg級］優勝　西橋（2―8）　［78kg超級］優勝　寺本（2―8）　【女子バレー】［県総体］優勝　福永（3―6）ほか　【男子バレー】［県総体］1回戦　白木（2―2）ほか　【バドミントン】［県総体］男子団体　1回戦　伊藤（3―6）ほか　女子団体　3位　今釜（3―1）ほか　ダブルスベスト16　永田（3―2）　【男子バスケット】［県総体］2回戦　宮本（2―5）ほか　【女子バスケット】［県総体］1回戦　川路（3―5）ほか　【サッカー】［県総体］4回戦　中山（2―3）ほか　【男子ソフトテニス】［県総体］団体　2回戦　上原（2―4）ほか　【女子ソフトテニス】［県総体］団体　3位　中﨑（3―8）　ほか　ダブルス　5位　中﨑　岩元（3―8）　8位　西（3―8）　西（1―6）　【男子硬式テニス】［県総体］団体　1回戦　内大久保（2―7）ほか　【女子硬式テニス】［県総体］団体　2回戦　前田（2―7）ほか　【女子ソフト】［県総体］2回戦　浅里（2―2）ほか　【空手道】［県総体］女子個人形　準優勝　四元（1―8）　ベスト16　脇田（1―5）　【剣道】［県総体］男子団体1回戦　荻（2―7）ほか　【卓球】［県総体］団体2回戦　永﨑（2―7）ほか　シングルス　3回戦　内園（3―2）ほか　ダブルス4回戦　久木﨑（3―2）　永﨑（2―7）　【ダンス】［県高校ダンス発表会］特別賞　境（3―2）ほか　【書道】［鹿児島地区揮毫大会］九州大会出場・創作部門優秀賞　下野（3―6）　臨書部門高文連賞　南條（2―2）ほか　【放送】［第64回NHK杯全国高校放送コンテスト県予選］テレビドキュメント部門　優良賞　野田（3―6）ほか　【珠算・電卓】［県高校珠算・電卓競技大会］個人総合　2位　電卓部門　田中（3―5）　読み上げ算種目　3位　電卓部門　田中　応用計算種目　3位　電卓部門　田中　【ワープロ】［県高校ワープロ競技大会］団体　速度の部　8位　戸破（2―7）ほか

南のヒーローヒロイン

女子ハンドボール部

抜水うららさん（3-8）　国分中出身

今回のヒーローヒロインは、女子ハンドボール部キャプテンで国体選手に選ばれ、右45度（ライトバック）のポジションを任されておりカットインなら誰にも負けないという期待のエース抜水うららさん（3―8）に取材した。

Q　ハンドボールを始めたきっかけは?

A　始めたのは中学校からです。小学生の頃に仲の良かった先輩に誘われて体験入部してみたところ、かっこいいなと思い憧れて入部しました。

Q　ハンドボールの魅力は?

A　長くしていると自分で考えてプレーできるようになるところです。先生に言われなくても自己分析をし、自分にあった守り方やチームにあった攻め方などを考えられるようになります。

Q　普段の練習で心がけていることは?

A　今のチームはおとなしく意思表示の足りない部分があると感じています。そのため普段の練習から声を出すようにし、厳しくするところは厳しく、褒めるところは褒めるようにしています。

Q　今までの試合でうまくいかなかったことは?

A　県総体でもありましたが、接戦の後半に流れを掴みきれずミスが増えたり、気持ちの切り替えができなかったりしたことです。

Q　心に残っている試合は?

A　昨年の九州大会で優勝したことです。延長戦を制し1点差で勝つことができたので達成感がありました。

Q　自分のプレイの良いと思うところは?

A　右45度というポジションは左利きが有利なのですが自分は右利きなのでロングシュートがきまりづらいです。そのためカットインを極めて今では誰にも負けないカットインができます。

Q　試合前にすることはありますか?

A　大会前は部員みんなで学食にいきます。個人的な面では、試合直前に緊張しているときジャンプやハイタッチをして気持ちを落ち着かせています。

Q　国体選手に選ばれた感想は?

A　昨年も選ばれていたのですが、そのときは2年生として3年生に力を貸す形でした。しかし今年は最上級生ですし、みんなをまとめられるようにしたいです。国体では勝負どころで決められるようにしたいです。

Q　休日はどのように過ごされますか?

A　じっとしているのが嫌なので外を走ったり、音楽を流して寝たりしています。あとは学校で自主練をすることもあります。

Q　これからの目標は?

A　国体で予選の九州ブロックを勝ち上がり、全国で勝負することです。

　高校卒業後は大学進学を考えているという抜水さん。進学先でもハンドボールを続けて、さらにレベルアップしていきたいと話してくれた。今後の活躍にさらに期待したい。

スーパーボーイみなみくん

弓道部女子

県総体40年ぶり栄冠

本校の弓道部女子は、5月30・31日に行われた県高等学校総合体育大会で見事優勝を果たした。本校の弓道部女子が県総体で優勝に輝いたのは実に40年ぶり。

　1日目に四ツ矢（1人4本射る）による予選が行われ、2日目に上位8チームによる決勝リーグが行われた。

　試合前、選手たちは「いつも通りに引いて勝ち、そしてインターハイに行こう」と語りあった。3年生の選手の中には「最後の試合になるかもしれない」と意識する人もいた。大会1日目は予選に出場する学校同士の応援もありにぎやかだったが、2日目の決勝リーグは会場の空気も緊張感に満ちた重々しいものとなった。しかし、本校選手たちは会場の雰囲気に飲まれないよう常に笑顔を絶えないようにし、顧問の八尋先生のアドバイスである「よそはよそ、うちはうち」と言い合って臨んだという。

　インターハイに行けるかどうかが決まる最後の1試合の一本競射。相手のチームと同じ的中数の接戦で焦りもあったが、的中の際、他校の応援者から上がる「さすが南だなあ」という感嘆の声や、順位が決定した時に送られた会場の拍手がとても嬉しかったという。

　とても緊張を強いられた今回の試合であったが、実は勝利のカギがあった。それはメンバー2人の存在だ。

「浜井麻由子さん（3―5）と中畠香織さん（2―7）の2人が試合の合間に選手たちがいつも通り引けるよう、リラックスできるように笑わせてくれた。今大会での貢献者だ」と主将の鎮守美和さん（3―7）は語る。他にも、応援メッセージが書かれたテーピングやミサンガを作ってくれた友達や、応援に駆け付けて下さった先生方への感謝を述べた選手もいた。

　大会での優勝を果たし、40年ぶりに優勝旗を手にした選手達は「40年!?」と驚き、なかなか優勝した実感が湧かなかったそうだ。

　鎮守さんは「3年間、一緒に戦ってくれた仲間がいる中で結果を出して優勝旗を持つことができて良かった」と語った。また、「大会後に泣いている他校の選手が声をかけてくれ、これから射る矢の一本一本の重さが変わった」とも語った。そんな感謝の気持ちと笑顔にあふれる彼女たちの全国での活躍を心から応援したい。

県総体で優勝した後の笑顔の一枚。メンバー同士の強い信頼が、大舞台でも動じない強いチームの原動力だ。

連載特別企画

青春宅配便

あなたに青春届けます。

レジンを使ったキーホルダー作りの材料。すべて100均で手に入る!

Vol,12

まるで宝石!透明感あふれるキーホルダー

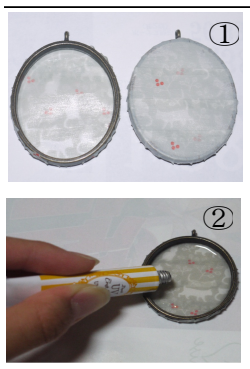
いよいよ夏休みスタート。勉強の気分転換に、夏にぴったりなレジンを使ったキーホルダー作りはいかが?涼しげで透明感ある仕上がりは、100均の材料とは思えない高級感ある完成度。友達と一緒に作れば、夏の思い出の品に!

レジンとは合成樹脂のことで、UVレジン液にUVライトを当てることで硬化させて、キーホルダーやアクセサリーなどを作ります。UVライトがなくても、普通の蛍光灯でも十分できますよ。

〈材料〉UVレジン液、ミール皿(土台)、お好みのパーツ、マスキングテープ、つまようじ、ピンセット、UVライト(蛍光灯や太陽光でも代用可)、シリコンマット(汚れてもいい紙を敷いて代用可)

〈作り方〉①お好みのミール皿の裏全面にマスキングテープを貼ります。②ミール皿にUVレジン液をゆっくり少量だけ流し込みます。気泡が入ってしまった場合はつまようじで取ります。③つまようじを使って、UVレジン液が全体にいきわたるように薄くのばします。④UVライトを数分間照射します。⑤好きなパーツをどこに置くか決めていきます。パーツを置く際はピンセットを使います。⑥場所が決まったら、写真を撮るなどしたあと、一旦ミール皿の外に出します。⑦UVレジン液をつまようじで薄く全体に広がるように丁寧に流し込みます。厚みを出したい場合は、液を数回に分けて硬化させます。⑧「⑤」で決めた場所にパーツを置いていきます。⑨上からレジン液を全体に広げます。⑩UVライトで5～8分照射します。⑪好みの厚さになるまで「⑨」・「⑩」を繰り返します。⑫好みの厚さになったら、「①」で貼ったマスキングテープを外してその部分をUVライトで硬化させます。⑬完成!〈感想〉本当にできるか心配でしたが、思っていた以上に綺麗にできました。UVレジン液にはハードタイプ・ソフトタイプ・カラータイプ・ラメ入りタイプなどさまざまな種類があるので、何を作りたいのか明確にしてから買った方が良いです。

〈完成品〉透明感と鮮やかな発色で、まるで工芸品のような高級感。贈り物にもできそうなクオリティにびっくり。



放課後散歩みち

地元で愛され続けるこだわりチーズケーキ

今回訪れたのは、洋菓子店「チーズケーキの麦と卵」。創業34年、地元の人たちを幸せにするケーキを作り続けるお店だ。店内はクリーム色を基調とした壁紙と色とりどりのスイーツが並びおしゃれな雰囲気。

主な商品は、看板商品のチーズケーキをはじめパウンドケーキやショートケーキ、焼き菓子までさまざま。チーズケーキは、普通のものから、レア、カッテージ、キャラメルなど全10種類にも及ぶ。他には、お年寄りに人気のサクサクな棒状の焼き菓子「スティック」(各種140円)や、シュークリーム(130円)、モンブラン(各種310円)などもある。

池田さんオススメのカッテージチーズケーキ

紫芋モンブランは色鮮やかで見た目も美味

今回対応してくださった店主の奥様である池田直子さんのオススメはカッテージチーズケーキ。女性に人気の商品で、甘さは控えめで、カッテージチーズ本来の味を存分に楽しめるケーキだ。

「受け継がれる味を大切に守りたい」と池田さん

このお店は、大阪で修行をつんだ直子さんのご主人のお父様が鹿児島でお菓子を広げたいという思いで開業。特にチーズケーキは作り方が受け継がれていて、昔からの製法や材料にこだわり、味を大切に守り続けているという。その伝統あるチーズケーキは、地元でも世代を超えて愛されている。

池田さんは今後について、「昔からの材料をずっと使い続け、味を守っていきたい。そして、一人暮らしのお年寄りの方が気軽にお話するだけでも立ち寄れるような、誰でも入りやすいお店にしたい」と語ってくださった。皆さんも、地元で愛され続けるチーズケーキをぜひ一度味わってみては?

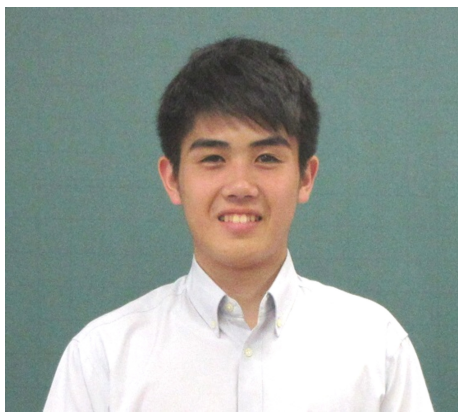
チーズケーキの麦と卵
★営業時間9～21時
鹿児島市谷山中央3丁目4776－1　谷山港区交差点近く

すっぴんきらり人物紹介

「ライダーの技術高めたい」オートバイ操る生徒会長

学校内外の注目人物を紹介する「すっぴんきらり」。今回は本校の新生徒会長の福留翔太(ふくどめしょうた)君に取材しました。福留君はトライアルというスポーツをしています。トライアルとは、オートバイでスピードでなくライダーの高度な技を競い合い、走破性と操縦技術の正確さを問う競技です。決められた時間で、魅力のある自然のコース途中に設けられた採点区間をいかに足をつくなどして減点されずに走り抜けるかを争うスポーツです。

昨年各県で行われた九州トライアル選手権に出場し、鹿児島県1位、熊本県1位、大分県2位、佐賀県2位の好成績を収めてきました。



2016九州「国内A級」クラス優勝
生徒会長(2－7)
福留翔太君

Q　トライアルを始めたきっかけは何ですか?

A　父がもともとやっていて、自分も小学4年のころから自転車トライアルという競技をしていました。中学1年のころに父がバイクを買ってきてくれたのが本格的に始めたきっかけです。

Q　やってきてよかったと思ったことは何ですか?

A　身近にやっている同級生がいないので、大人と接する機会が増え、進路のことが聞けたり、社交性が身についたりすることです。

Q　やっていてつらいと思ったことは何ですか?

A　急斜面から転び腰を打って怪我をした時はつらかったですね。また、うまくプレーできず父から怒られたりすることもつらいですが、そのことは逆に期待されると感じて嬉しい気持ちにもなります。

Q　どのようにトライアルを練習していますか?

A　土日に吹上町与倉のトライアル場で父や昔からお世話になっている方にコースを作ってもらい、難易度が高いコースの練習の時はアシスタントをしてもらうような形で練習しています。

Q　休みの日は何をしていますか?

A　バイクについた泥などを掃除したり、動きを良くするために分解してバイクの整備をしています。

Q　次の目標は何ですか?

A　8月に宮崎で行われる九州選手権の国際B級クラスで表彰台に立つことです。その為に日々の練習を大切にし、自分の苦手な部分を大会までに改善したいです。

趣味はダーツや釣りで、好きなスポーツは、サッカーやウエイクボードだという福留君。これから福留君がトライアルでいい成績を残すことと、生徒会長として活躍することにも期待したいです。

グランドチャンピオン大会(広島大会)のウォーミングアップの様子。写真は125ccのバイク。現在は250ccを乗りこなす。

表面がベタベタすることがありますが、1日太陽光に当てたり、ネイル用のトップコートを上から塗ったり、除光液で拭き取ったりすると取れますよ。

【告知】新入部員募集!一緒に学校新聞を作りませんか?楽しい充実した活動です。関心のある方はお近くの部員か顧問まで。